

バイオマス取組事例概要

《農林水産省農村振興局長賞》

- 応募主体 井村屋製菓株式会社
- 都道府県・市町村 三重県津市
- 取組分野 堆肥、飼料、バイオガス、RPF

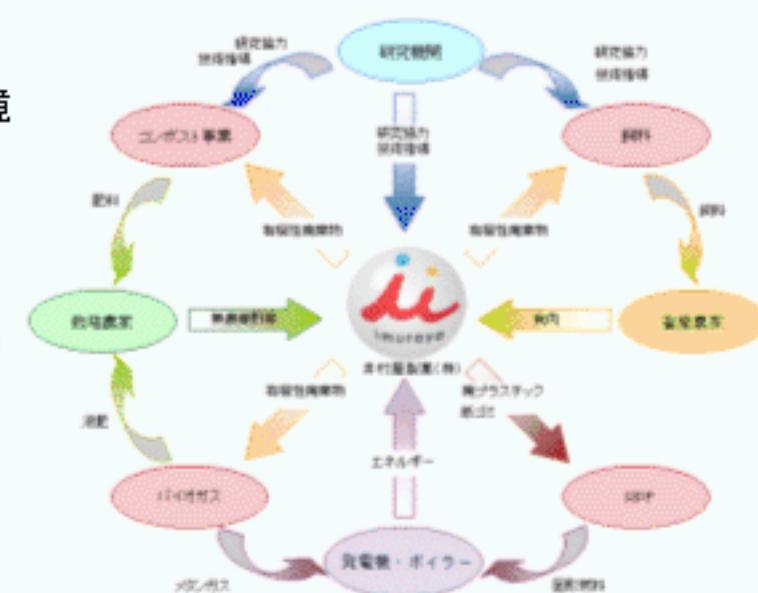
取組概要

食品工場から発生する有機汚泥から堆肥を製造。食品廃棄物の飼料化、バイオガス発電、RPF等のゼロエミッション活動を実践。

井村屋製菓株式会社は循環型社会経済システムの構築を目指し、ゼロエミッション活動、省エネ・省資源の取組み、環境にやさしい製品設計等の環境保全活動を推進している。

工場から排出される有機汚泥については、既に堆肥化による循環利用がされている。

更に、ゼロエミッション化の実現のため、食品廃棄物の飼料利用、バイオガス発電、容器包装材(廃プラスチック、紙ごみ)のRPF等の実証試験も実施している。



堆肥の製造(有機汚泥)

有機性汚泥のリサイクルのため、工場から排出される汚泥にケイソウ土、そば殻を混合し堆肥を製造。

堆肥を利用して契約農家で栽培された農作物は井村屋の製品として利用されており、循環利用がされている。



飼料化の実証(食品廃棄物: 原料くず等)

製造過程で発生する原料くず、製造不良品のリサイクル利用を目的に乾燥、粉碎処理によって飼料化を図る実証試験を実施している。



バイオガス発電の実証(食品廃棄物)

含水量が高く、肥料及び飼料化が困難な食品廃棄物のリサイクル利用を目的にバイオガスの製造、発電の実証試験を実施している。また、消化液の微細藻類培養液としての利用についても実用化に向けた取組を行っている。



RPF実証(容器・包装材)

ゼロエミッションの推進のため、廃プラスチック及び紙ごみの容器包装材のリサイクルのため、RPF装置を導入し、ボイラー熱源として利用するための実証試験を実施している。

